

## News Release

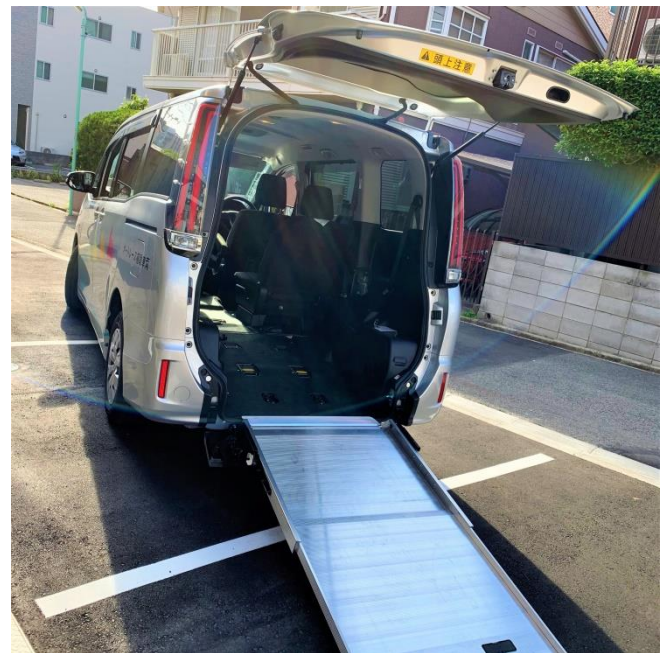
2019年4月1日  
社会福祉法人ふれ愛名古屋

### 悩める子どもと家族を支える「医療的ケア対応」福祉車両事業

公益財団法人JKA 福祉車両の整備  
子どもたちにたくさんの体験と経験を！



車内もマンツーマン体制による見守りを取り組んでいます。



バックガイドモニターにより後方視界を画面に表示し、  
車内外の安全を確保します。

この度、公益財団法人 JKA 「平成 30 年度福祉車両の整備 補助事業」の助成先に選定いただきました。

福祉車両は車いすと同じように、日常生活の「足」として欠かせない存在です。車中は、看護職員が1対1で医療的ケアに対応（大きな医療機器を搭載）するための十分なスペースが必要です。福祉車両の整備をすることで、安全な環境で送迎や活動を行うとともに、家族と子どもたちの負担軽減につながります。

#### <事業の目的>

医療技術の進歩等を背景として、身体・知的ともに重い障がいがある子どもたち、中でも人工呼吸器等を使用した吸引などの「医療的ケア」を必要とする子どもが急速に増えています。しかし「重症児（重症心身障がい児と医療的ケア児）」の日常生活は、家族が自宅で付ききりという前提になっています。家族の負担は大きく将来への不安も募り、地域支援の必要性が求められているなかその仕組みはまだ不足してい

ます。デイサービスでの送り迎えや日常の移動に必要な福祉車両が足りないため、多くの家庭が自力で、バスや電車などを「ミニ引っ越し」さながらの大荷物で行わなければなりません。本事業は、医療的ケアに対応でき「どんなに重い障がいがあっても」安心・安全な環境を実現できます。

#### <実施内容>

車いす仕様（スロープ式） 1台

上記の背景から、子どもたちは外との交流が極めて少ない状況にあります。そこで活動の中に「お出かけ」に力を入れています。スタッフが「マンツーマン体制」で公園へ出かけ同世代の子どもたちと「交流」したり、水族館でたくさんの「生きもの」を観たり、災害を学びに防災センターへ「見学」したり、スタッフと家族と絆を深めるためのBBQをしたり、そんな「あたり前」の環境を目指しています。

#### <予測される事業実施効果>

今回の事業実施によって、子どもたちの行動範囲は飛躍的に広がり、たくさんの経験を積むことができます。また家族にとってもこれまで家族の力だけで行ってきたことを安全な環境で送迎や活動と合わせることで、精神的・経済的な負担軽減につながります。

#### 【本件に関するお問い合わせ】

社会福祉法人ふれ愛名古屋 担当：伊藤、鈴木  
TEL:052-661-1811

#### 本事業の主催者：社会福祉法人ふれ愛名古屋

- 「どんなに重い障がいを持っていても、あたりまえのように笑顔で暮らせる地域（未来）を創りたい」という想いで、お母さんたちと手を合わせ「ふれ愛名古屋」は生まれました。私たちは重い障がいを持つ子どもとお母さんを全力でサポートします。
- 設立：2017年2月（創業2012年3月） 理事長：鈴木 由夫
- 主たる事務所：〒455-0008 名古屋市港区九番町4-6-1
- 主な事業：児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護  
居宅介護、重度訪問介護、医療型短期入所  
移動支援、診療所